

はい!

みんなで支え みんなで築く
福祉のまち美作

社協です!

11²⁰²⁵
月号
No.157

ボランティアフォーラムを開催

～誰もが参加できるこれからのボランティア活動について～

ボランティアフォーラムを開催

地域共生社会の実現に向けて

9月29日(月)作東公民館で、美作市社協主催による「ボランティアフォーラム」を開催し、市内のボランティアグループやボランティアに関心を寄せる市民等約80名の参加がありました。

本フォーラムは、一人でも多くの方にボランティアに関心を持っていただき、ボランティア活動の輪を広げることを目的に開催しました。

講師には美作大学 社会福祉学科 堀川涼子教授をお招きし、「共に生きる時代のボランティア～だれもが参加できるこれからのボランティア活動について～」と題し、ご講演いただきました。

堀川教授は、高齢、障害、子育て等地域社会の課題が多様化している中で、これからのボランティア活動は「地域共生社会」の実現に向け、「助けられる側」と「助ける側」に分かれるのではなく、お互いに助け合うことがこれまで以上に重要との話をされました。

講演後は、これからのボランティア活動の担い手について、またLINEを活用した新たなマッチングの仕組みについてグループワークを行い、活発な意見が交わされました。

参加者からは「障害者やひきこもり、高齢者は一方的に助けられる側と思っていたが、一見助けられる側の人もボランティアの担い手になれることに気づくことができた。」「これからボランティア活動を盛り上げていく気持ちが高まった。」「受け身ではなく、自分たちも社協に提案していくべき。」などの感想が聞かれ、フォーラムは盛会のうちに幕を閉じました。

本会では、皆様からいただいたご意見をもとに、誰もが気軽に参加できるボランティア活動の仕組みづくりに取り組んでまいります。



堀川教授による基調講演



和やかに講演を聞く参加者の皆さん



グループワークでは活発な意見が交わされました

9月はアルツハイマー月間です。



9月はアルツハイマー月間として、毎年日本各地で認知症に関する知識と理解を深める活動が行われています。

地域包括支援センターでは、アルツハイマー月間に合わせ、認知症キャラバンメイトの皆さんとともに、市内各地で認知症啓発活動を行いました。

1. 普及啓発活動

8月25日(月)は大原病院、くみあいマーケット、26日(火)はマルナカ美作店において、イベントチラシとポケットティッシュを配布し、普及啓発活動を行いました。

2. 認知症講演会

9月2日(火)、美作保健センターと大原保健センター(ZOOM形式)で、認知症講演会を開催しました。当日は、一般社団法人日本認知症ワーキンググループの藤田和子氏・澤野しのぶ氏と認知症キャラバンメイトの坂元秀明会長による対話形式で行い、2会場で約130名の参加がありました。



対話形式の認知症講演会

藤田氏は、当事者である自身の体験をもとに「新しい認知症観」や

「認知症とともに生きる希望宣言」等についてお話しいただきました。参加者は、誰もが認知症となりうる身近なことだからこそ、正しい知識と気軽に相談できる環境をもつことの大切さについて、理解を深めました。

3. 出張認知症カフェ

9月11日(木)マルナカ美作店で、認知症キャラバンメイトと林野高校の生徒が協力して、出張認知症カフェを開催しました。当日は、27名の買い物客の参加があり、認知症クイズに挑戦したり、お茶を飲みながら認知症について考える機会を提供しました。



マルナカ美作店での様子

4. パネル展示

美作市役所1階ロビー及び作東公民館、英田保健センターで、認知症啓発のパネル展示を行いました。



英田保健センターでパネル展示

赤い羽根共同募金運動が始まります。

～じぶんの町を良くするしくみ～



募集期間 令和7年10月1日(水)～12月31日(水)

令和7年度目標額 4,600,000円 (令和6年度実績額:3,960,367円)

募金運動について

10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まりました。赤い羽根共同募金は、私たちの町の身近な福祉活動や災害時の被災者・被災地の活動支援のための募金として活用されます。

被災地の活動支援に使われています。

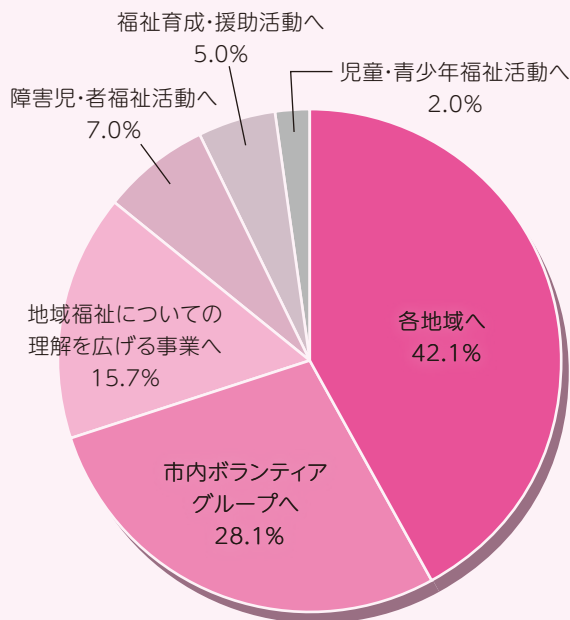
平成21年の美作市を襲った豪雨災害では、美作市社協が設置した災害ボランティアセンターに県共同募金会の義援金が届けられ、センター立ち上げの経費として有効に活用させていただきました。このように、いざという時に私たちを助けてくれる活動にも募金が活かされています。

共同募金運動にご協力をお願いします。

皆様からの募金は、美作市共同募金委員会から岡山県共同募金会に全額送金して、翌年度に募金額の約半分が美作市社協に配分されます。

配分金は、旧町村域の福祉活動の財源として、全て還元することを基本に事業を実施していますが、障害者の当事者団体や家族会、ボランティアグループの多様な活動や、新たな福祉ニーズに対応するために、令和2年度より配分内容を見直し、従来地域の配分に市域枠配分を加え活用しています。

共同募金は、少しでもじぶんの町を良くしようという思いを具体的な活動や物につなげていく募金活動です。本年度も募金の目的をご理解いただき、市民の皆様の温かいご協力をお願いします。



訪問理美容

サロンペペ

老人・障害者施設等に訪問し、介護保険外の生活支援(障がい者・お年寄り対象)を行なっています。



お問い合わせは

salonpepe.jp 0868-72-9800

介護保険 指定居宅サービス事業者
福祉用具 販売・貸与 (レンタル)

介護保険事業所番号 3370300190

株式会社 津山医研

〒708-0004 岡山県津山市山北636の2

電話 (0868) 23-0569

FAX (0868) 23-8744

夏のボランティア体験事業2025

～あなたは何を感じ、何を発見しますか?～

美作市社協は、夏休みの期間を利用して中・高校生を対象に「夏のボランティア体験事業(通称:夏ボラ)2025」を実施しました。

本年度は、109名の中・高校生が参加し、市内25ヵ所の高齢者施設や障がい者施設、児童施設で活動しました。

夏ボラは、子どもたちのボランティア活動始める「きっかけ作り」と地域におけるボランティア活動の振興を図ることを目的に、毎年夏休み期間を利用して、市内の福祉施設や地域でボランティア活動を体験する機会を提供しています。

子どもたちは、多くの人たちや自分とは違った価値観の中でボランティア活動を体験し、今までとは違った自分を発見することが出来たのではないのでしょうか。

夏ボラにご協力いただいた施設・学校・地域の皆様に、紙面を通じてお礼申し上げます。



お弁当の配達



ツツジ園の清掃活動



子育てサロンこっこで
プール遊び



子育てサロンこっこで
一緒にうちわ作り



障がい者施設で
野菜の仕分け作業

ボランティア活動を体験した子どもたちの感想

中学生からのコメント(障がい者施設)

最初は慣れない作業に少し戸惑ったが、職員の方が丁寧に教えてくださって、だんだんスムーズに動けるようになった。

中学生からのコメント(高齢者施設)

体験をする前はどのような所なのか不安でしたが、体験を終えるととても楽しかったので、少し寂しく感じました。

高校生からのコメント(高齢者施設)

緊張していたけど、実際にお手伝いなどをすると利用者さんと自然に会話することもできて、たのしくボランティアをすることができました。

高校生からのコメント(児童施設)

今までいろいろなボランティアに参加してきたが、子どもと関わる時間がこんなにも多いのは初めてで、一人一人しっかり関わる事ができて良かった。

中学生の温かいイラストが、高齢者に笑顔をお届けます。

— 学びの多様化学校 樺(あらき)学園と連携した配食サービス —

本年度、作東中学校の分教室として開校した「学びの多様化学校 樺(あらき)学園」の生徒の「地域に貢献したい」という思いを叶えるため、美作市社協が行っている配食サービス事業のお弁当に、生徒たちが書いたイラストや手紙を添えて、利用者にお届けする活動が始まりました。

活動にあたり、美作市社協の職員が、配食サービス事業の目的や利用者の暮らしの様子について生徒たちに説明を行い、「四季の移り変わりを楽しみにしている方が多いこと」や、「手書きの温かいメッセージが喜ばれていること」など、利用者の声もあわせて伝えました。

それぞれの生徒が「利用者の方に元気や楽しさを届けたい」という思いを込めて、お弁当に添えるイラストや手紙を作成し、8月から約1か月間、利用者宅に届けられました。

利用者からは、「いつも素敵なイラストをありがとう。」「元気をもらっています。」「中学校生活、頑張ってくださいね。」といった、温かい感想や励ましの手紙が多数寄せられています。

利用者から寄せられた手紙は、生徒たちにとって大きな励みになっています。10月以降も、秋らしいイラストの作成を予定しており、引き続き生徒たちと地域をつなげる活動を進めてまいります。



生徒たちのイラストや手紙



お弁当にメッセージを添えて



シルバー人材センターで
健康・生きがいをつかもう

草刈り

剪定

障子の張替え

草取り

家事援助など

会員募集中! 60超えてもまだまだ元気・再度社会に貢献しよう!

公益社団法人 美作市シルバー人材センター

本 所 美作市北原498 ☎72-8711
英 田 支 所 美作市尾谷2288-1 ☎74-2113
東 部 支 所 美作市赤田315 ☎78-0155

まずはお電話で
ご相談ください。

学生・単身・一般

引越し

家具の移動
事務所移転
県外運送可

- ◎引越し
- ◎買物代行
- ◎配 達

承ります — 軽貨物運送業 —



合同会社 **タムラ**

〒707-0003 岡山県美作市明見 801-1

お気軽に
お問い合わせください ☎0868-72-1525

美作お助け隊 参加法人のご紹介

地域公益活動と一緒に取り組んでいる美作お助け隊参加法人のご紹介をさせていただきます。

特定非営利活動法人 地域生活支援センターみまさか

住所：〒707-0113

岡山県美作市真加部1616勝田保健センター内

電話：0868-75-4345

F A X：0868-75-4346

E-mail：npomimasaka@eagle.ocn.ne.jp



法人理念

地域で暮らしている障害者(知的、身体、精神、発達、難病)の方や、障害児本人やご家族、生活困窮のご家庭に対して相談支援や緊急時に対応する活動を実施しています。

また、子ども食堂及びフードバンク活動などの実施を通じて、地域にお住いの障害児者及び生活困窮など社会的弱者の方が安心して暮らせる地域づくりに寄与することを目的としています。

事業内容

● 相談支援事業(指定特定相談支援、指定障害児相談支援)

障害福祉サービス利用に
関する相談・利用支援

就労支援

障害者就労、一般就労、作
業所等

権利擁護

障害児者虐待防止、成年後
見制度利用支援

● 地域生活支援(自立生活援助)

長期の入院(精神科)及び施設から退所して地域での生活を一人で始められる方に対して安心して暮らせるように様々な相談支援を実施

● 子どもの居場所支援活動

子ども食堂運営開催



子ども食堂の様子▶

もったいないをありがとうへ

美作お助け隊

フード&ライフドライブお礼とご報告

フード&ライフドライブとは、いただきものや買いすぎてしまった食料品など、家庭や企業で余った食料品・日用品を募り、必要としている人に提供する活動です。

8月25日(月)から9月12日(金)にかけて、美作お助け隊(美作市内の社会福祉法人等連絡協議会)によるフード&ライフドライブを実施しましたところ、多くの方々のご協力により、たくさんの食料品や日用品の寄附をいただくことができました。皆様のご厚意に深く感謝致します。

ご寄附いただきました食料品や日用品は、美作市社協を通じて必要とされるご家庭や団体等への支援に活用させていただきます。

次回は令和8年1月頃の実施を予定していますので、皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



◆実施詳細

品目	個数	総重量(容器重量含まず)
食料品	492個	188.2kg
日用品	163個	83kg
合計	655個	271.2kg

美作市障害者地域活動支援センターなごみ

なごみ通信

福山地区の方々と『カレー交流会』

8月8日(金)なごみふれあいホールで「福山地区ボランティアの会」の方々をお招きし、『カレー交流会』を開催しました。

ボランティアの方々が管理されている畑で、季節の野菜の苗の植え付けや収穫に声をかけてくださり、毎年農業体験をさせていただいております。

いつもお世話になっている方々に、何かお礼ができないかと話し合い、今年収穫させていただいた玉ねぎやじゃが芋を使って、カレーでおもてなしをすることにしました。

「今日は本当にありがとう!」「カレーも美味しかった。」と福山地区ボランティアの会の方々から嬉しい感想をいただき、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

地域の方々と交流することで、協働で一つのことを成し遂げる喜びなど、心の豊かさを得ることができています。

福山地区ボランティアの会の皆様、これからもよろしくお願いいたします!



カレー美味しいね♪



福山地区ボランティアの会と楽しく交流

美作市障害者地域活動支援センターなごみ

〒709-4234 美作市江見 280 (作東長寿センター内)
電話：0868-75-4753 FAX：0868-75-7081

英田小学校で福祉教育を開催しました

9月11日(木)、9月25日(木)の2日間、英田小学校4年生を対象に、障害者理解を深める福祉教育を開催しました。1日目は、市内で障害者理解を広める活動をしている「美作えがお広め隊」と美作大学の実習生による障害理解に関する講演やクイズ等をしていただき、障害に対する理解を深めることが出来ました。2日目は、手話サークル「あおぞら」の皆さんによる手話講座を開催し、耳が不自由な方とのコミュニケーションの取り方や、自分の名前の手話を教えてもらいました。

児童からは、「目に見えない障害があることを知ることができた。」「自分の名前や友達の名前を手話で出来るようになって良かった。」などの感想もあり、障害者に対する理解を深めるきっかけになりました。



クイズに答える児童



自分の名前の手話を学ぶ児童

湯郷地区社協が「私が先生・稲刈り教室」を開催

9月24日(水)、湯郷地区社会福祉協議会(湯郷地区社協)による、美作第一小学校の児童を対象とした「私が先生・稲刈り教室」が開催されました。

湯郷地区社協では、児童との交流や文化伝承などを目的に、1年を通して「田植え」「稲刈り」「餅つき」を実施しています。

6月に植えた苗は立派に育ち、今回の稲刈りには2年生41名、5年生34名、計75名の児童が参加しました。

地区社協役員の皆さんが事前に周辺の草刈りや稲架掛けの準備を行い、安全で楽しく体験できる環境を整えられた中で、児童は鎌の持ち方などの指導を受けながら稲刈りをする事ができました。

参加した児童からは、「稲刈りの大変さが分かった。」という声が聞かれ、自然と食の大切さを学ぶ貴重な機会となりました。



地域の人に教えてもらいながら稲刈り体験

美作市総合相談支援センターからのお知らせ

相談無料
秘密厳守

～家計・介護相談会～ 一人で悩んでいませんか？

対象者	美作市内に在住で家計や介護に関する悩みのある方 (家計相談は、生活保護を受給している方は対象外です)
開催日時	11月11日(火)・12月10日(水) 13時～16時 ※要予約 開催日以外での相談も受付けています
場所	総合相談支援センター・各地域ステーション (連絡先等は12ページに記載)



介護者のつどい 開催のお知らせ

「介護者のつどい」は、在宅などで介護をしている方を対象に、介護に役立つ知識を身につけたり、抱えている悩みなどを相談しあえる場です。

今回は、市内合同で開催します。ご希望の方は送迎も対応致します。

日時	10月22日(水)	各地域 連絡先	勝田地域 …………… 75-3601
時間	10:00～13:30		大原・東粟倉地域 …… 78-0509
場所	作東公民館		美作地域 …………… 73-0330 作東地域 …………… 75-3780 英田地域 …………… 74-2488

お子さんの写真が広報紙を彩ります！

広報紙「はい!社協です」の表紙写真を募集します。

美作市社協は、広報紙「はい!社協です」令和8年1月号の表紙を飾る美作市内在住の就学前のお子さんの写真を募集します。

美作市の将来を担う元気な子どもたちの「輝く笑顔」の写真をお待ちしております。

応募方法は、お子さんの氏名、年齢、応募者の氏名、住所、連絡先を入力の上、下記メールアドレスに写真データを添付し、11月20日(木)までにお申し込みください。

応募多数の場合は先着順とし、写真の掲載をもって発表に代えさせていただきます。

なお、応募された写真は返却できませんのでご了承ください。

応募先メールアドレス mimasyakyo@mimasakasyakyo.jp

※申請に添付していただく写真データは3MBまでとなります。 ※入力された個人情報につきましては、申請以外の目的に使用することはありません。 ※美作市社協本所総務企画課宛に郵送、またはお持ちいただいたも構いません。



「ひきこもり」支援の現場から

✍️ NPO 法人山村エンタープライズ 代表理事 の と ひろ つ く 能登大次



実践編クイズ!!

〜その2 家族旅行〜

実践編クイズ第2問、いつてみましょう！

あなたは年末に家族旅行を予定しています。ところが高校生の息子は絶賛ひきこもり中、何度誘っても応答がありません。さあどうしますか？

- ① 外と触れ合う絶好の機会だから、連れて行く
- ② 1人で留守番させて、息子以外の家族で旅行を満喫する
- ③ 1人では家事もできないし、旅行はやめにする

「ずっと部屋でゲームばかりして過ごす息子に、少しは外の空気を。」旅行で気分を変えたら、普段できない話しも

できるかもしれない。「わかります。でも今回も、大方の期待とは裏腹に、正解は②なんです。」

1人だけ置いて楽しむなんて…つて後ろめたく感じてしまうのは当然だと思います。最愛の家族ですからね。でもこれも、前回のクイズと考え方は同じです。

もし息子のせいで、家族全員が楽しみにしていた旅行をあきらめることになったら、息子さんは「自分のせいで…」と自分を責めてしまうでしょうし、家族の側にも「あの子のせいで」というわだかまりが残ることになりますから、あまりよいチョイスではありません。

では逆に、ちょっと強引に連れて行った場合はどうでしょう？

家族で一緒にご飯を食べ、温泉に入り、川の字に布団を並べて…、そうやって一緒に過ごしたら、もしかしたらあの頃に戻るかも、と親御さんの期待は膨らみます。

でも、息子の気持ちはどうでしょうか。

「ご飯を食べながら、お風呂に入りながら、どんな会話になるか、もう火を見るより明らかですよ。」

「たまには学校行ってみたら？」「仲良しだった○○くんもこの前心配してたよ」

今の息子が「絶対に!!」触れてほしくない話題のオンパレード。

息子さんだつてもちろん、昔みたいに家族と無邪気に旅行を楽しみたい気持ちは一緒です。だけど…今は行きたくないんです。

「でも料理も洗濯もしたくないのに置いていって大丈夫なの?」

心配ですよ。でも実は、普段部屋から(家から)一歩も出なかつた息子が、親の留守中にスーパで惣菜を買ってきたり、それどころか料理や洗濯までしていたり…これ「ひきこもりあるある現象」なんです。

「可愛い子には旅をさせよ」と言いますが、この場合は逆

に「留守番お願いね。」こそが、彼にとつての「二人旅」なのかもしれないですね。

*もちろんケースバイケースなので、判断に迷ったらご相談を!

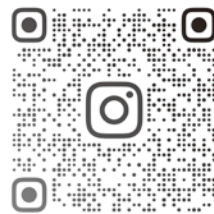
居場所「誰でもYorale(ヨレール)」を開催しています!

100インチスクリーンでゲーム、セラピードッグともふもふ触れ合いも!

開催日 隔週水曜日14~18時

会場 みんなの居場所すずらん (林野342)

詳細は、右のQRコードからインスタをご確認ください。



YORALE_2025



寄附金の報告

多額のご芳志をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

令和7年7月21日から
令和7年9月20日受付分

香典返し

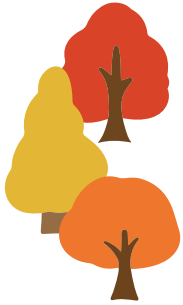
真殿 皆木 正光様
 (亡) 常子
 東谷下 長岡 利一様
 (亡) 保子
 大町 大町 維玖子様
 (亡) 輝行
 長谷内 絹田 英二様
 (亡) 信子
 宗掛 江見 和子様
 (亡) 厚
 壬生 原 正一郎様
 (亡) 外司 義昭
 明見 安藤 洋二様
 (亡) 睦男
 豊国原 野亀 徳子様
 (亡) 山本 鹿男
 湯郷 尾高 貢様
 (亡) トキ子
 位田 竜門 利幸様
 (亡) 千歳
 朽木 中川 貴子様
 (亡) 吉子
 榎原下 水嶋 偉晴様
 (亡) 富美恵
 小房 外司 政徳様
 (亡) 秀子
 小野 黒澤 勉様
 (亡) 恵子

一般寄附

岩辺 大前 龍子様
 (亡) 好春
 大内谷 春名 里美様
 (亡) 房枝
 豊野 新免 忍様
 (亡) 忠明
 豊野 圓東 さゆり様
 (亡) 正英
 土居 藤本 真生様
 (亡) 秋良
 津山市 中田 克典様
 (亡) 千香代

物品寄附(おむすび事業)

北山 岡田 紳介様
 平田 安東 孝様
 榎原下 角 慎作様
 江見 丸尾 克己様
 角南 池田 久美子様



美作市社協では活動情報などを
Facebook・LINE・Instagramで
発信しています



Facebook



LINE



Instagram

表紙の写真

9月29日(月)作東公民館で、美作市社協主催による「ボランティアアフォーラム」を開催し、市内のボランティアグループやボランティアに関心を寄せる多数の市民の参加がありました。

これからの美作市のボランティアのあり方を話し合うグループワークでは「ボランティア活動は特別なものではなく、無理なくできる範囲でよい。」という声があがるなど、活発な意見が交わされました。写真はグループワーク時の講師(美作大学 堀川涼子教授)の様子です。皆さんもできる範囲でボランティア活動に参加してみませんか？



福祉とは「ふだんのくらしのしあわせ」をみんなで作る活動です。

編集・発行

社会福祉法人 美作市社会福祉協議会

〒709-4234 美作市江見280 TEL(0868)75-2622 FAX(0868)75-7081

美作市総合相談
支援センター

〒707-0017 美作市美来1「美作市役所内」
TEL(0868)73-0330 / FAX(0868)72-7702

大原・東粟倉
地域ステーション

〒707-0412 美作市古町1850-1
TEL(0868)78-0509 / FAX(0868)78-3230

作東地域
ステーション

〒709-4234 美作市江見280
TEL(0868)75-3780 / FAX(0868)75-7081

勝田地域
ステーション

〒707-0113 美作市真加部1616
TEL(0868)75-3601 / FAX(0868)75-3602

美作地域
ステーション

〒707-0014 美作市北山401
TEL(0868)72-3677 / FAX(0868)72-3969

英田地域
ステーション

〒701-2604 美作市福本810-2
TEL(0868)74-2488 / FAX(0868)74-3232

社協だよりは、皆様からお寄せいただいた社協会費・寄付金の一部を使って発行しています。